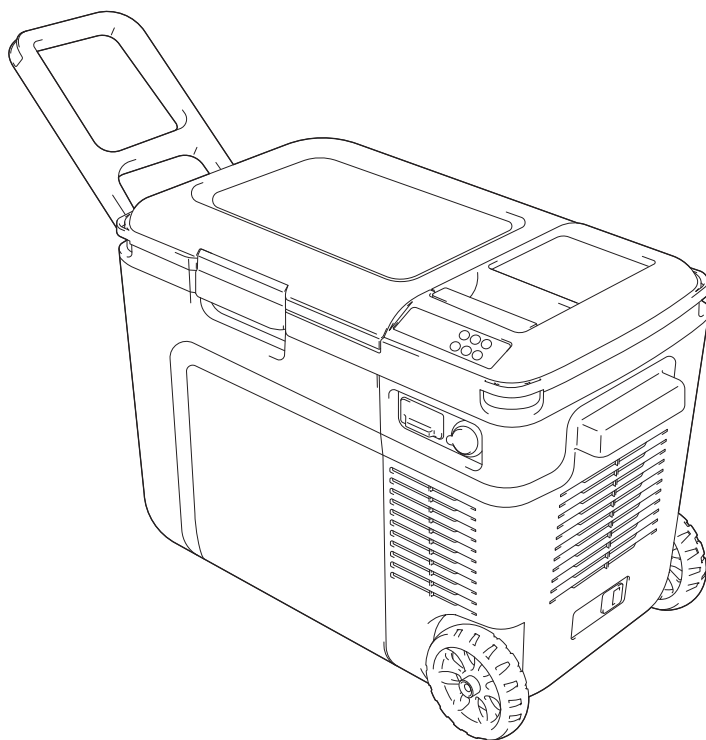




LOGOS
OUTING EQUIPMENT

(野電)エレキャン・温冷/冷凍庫
27-BF(−20℃/60℃ ホイール)
No.74175095

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
各部の名称	4

使いかた

使いかた	6
お手入れ／収納	10

こんなときは

故障かな?と思ったら	11
エラーメッセージ	14
仕様	裏表紙
保証書	裏表紙

保証書付き

この度は、本商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に、この説明書をよく読んでください。

また、事故やけが、器具の破損などを防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、注意事項は必ずお守りください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

安全上のご注意

人への危害や財産の損害を防ぐため、次の事項を必ず守ってください。

■ 誤使用により生じる危害や損害の程度の区分

 警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
 注意	傷害を負うおそれや、財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■ 注意事項の内容の区分

 してはならない内容です。
 実行しなければならない内容です。

警告

破裂、発火、けがのおそれあり



- 熱源（火気、燃焼器具、直射日光など）の近くや引火性ガスが発生する場所、炎天下の車内などで使用・保管・設置しない。
- 電源が入った状態で、箱などに入れない。
- 運転中は通気口をふさがない。（通気口付近が高温になり、火災や冷却機能低下のおそれ）
※通気口の周囲は15cm以上空け、定期的にほこりを取り除いてください。
- 本製品のポートやコネクタに金属などの異物を差し込まない。
- 落下など強い衝撃を与えたり、乱暴に取り扱ったりしない。
- 分解・修理・改造しない。



- 異音・異臭・作動不良など故障の疑いがあるときは、直ちに使用を中止し、コードを取り外す。

発火、感電のおそれあり



- 付属のコード以外は使用しない。（正常に使用できないおそれ）
- 付属するACアダプターやDCコードは本製品以外の電気製品には使用しない。
※本製品専用品です。
- 付属ACアダプターの電源コードは本製品以外のアダプターには使用しない。
※本製品のACアダプター専用品です。
- 海外で使用しない。 ※本製品は、日本国内専用品です。
- コードは、傷つけたり引っ張ったり踏んだりしない。
- 濡れた手で操作、使用しない。
- 雨中や高温・多湿な場所、ほこりの多い場所で使用・保管・設置しない。
- 水をかけたり、濡らしたり、水中に落下させたりしない。
- 通気口やすき間から異物を入れない。



- 電源プラグ、DCプラグのほこりは、定期的に取り除く。
- 電源プラグ、DCプラグは、奥まで確実に差し込む。
※差し込みが緩いときは、使用しないでください。
- 使用後は、電源プラグまたはDCプラグを抜いた後で本体用プラグを抜く。
- 使用しないときは、コードを取り外す。

注意

けが、財産の損害のおそれあり



- 小さな子どもには使用させない。
- 乗ったり寄りかかったりしない。
- ドライアイスを入れたり、液体や氷を直接入れたりしない。
- 割れやすい物を入れない。
- 生き物を入れない。



- 乳幼児の手の届かない所に保管する。
- 車内使用時は、本体を固定し、ふたが開かないようにする。
- お手入れするときは、必ず電源を切り、コードを取り外す。

使用上のご注意

故障、破損などを防ぐために

- 不安定な場所や、濡れた地面などに置いて使用しない。
- 本体を逆さまにしない。
- 業務用に使用するなど、長期間の連続使用はしない。
※本製品は、主に野外での一時的な使用を想定して開発されたものです。

冷却性能を十分に発揮させるために

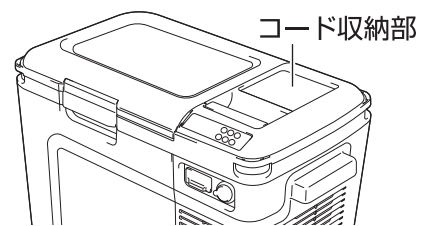
- ふたが開いている時間をできるだけ短くし、ふたは確実に閉める。
- 物を詰め込まない。
- 庫内壁面に霜が付いたら、使用後に霜取りをする。(P.10)

車のバッテリー上がりを防ぐために

- 車内使用時は、必ずエンジンをかける。

上手にご使用いただくために

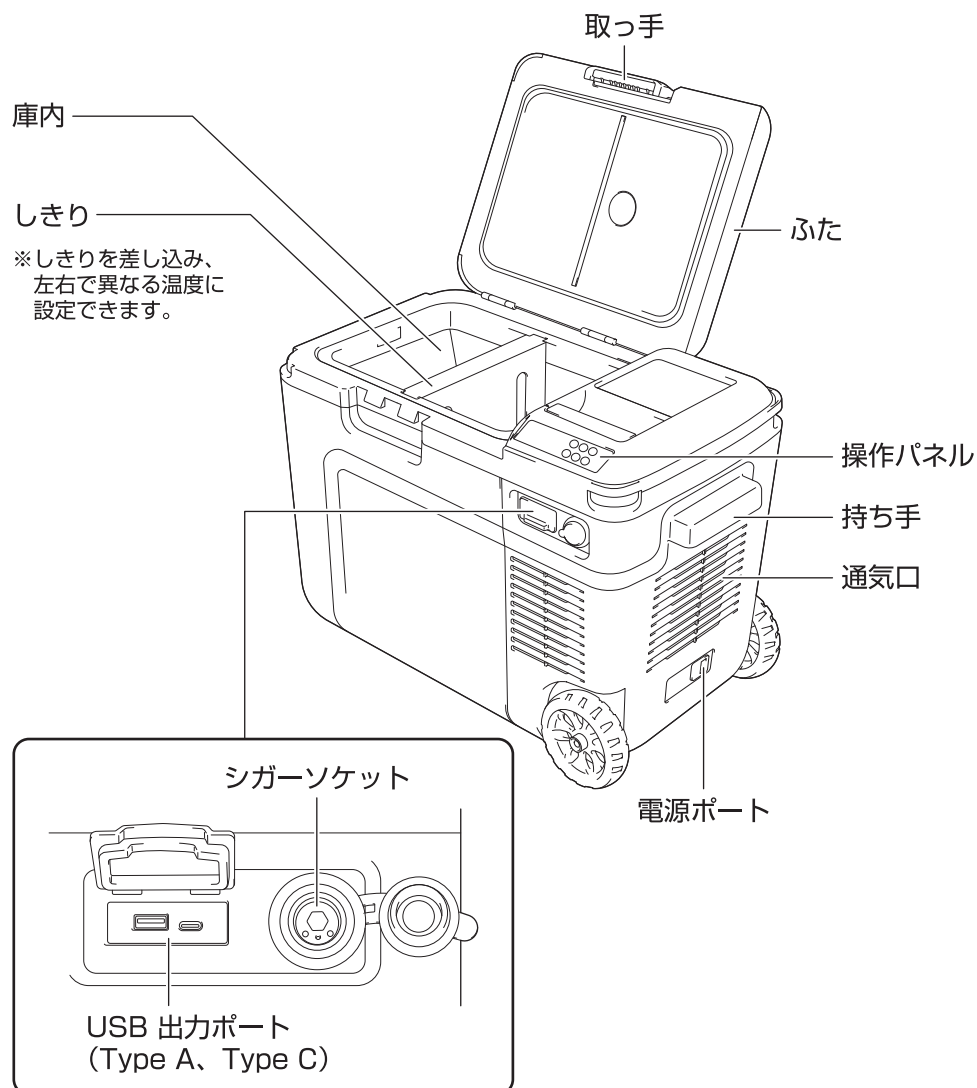
- 飲み物は、栓を閉めて入れる。
- 湿度の高い場所で、頻繁にふたを開けない。
(庫内壁面が結露するおそれ)
- 水平に置いて使用する。
(コンプレッサー式の冷却器を使用しているため、異音発生のおそれ)
※本体を立てたり倒したりした状態での使用や持ち運びはしないでください。
※万一、異音が発生した場合は、直ちに使用を中止し、コードを取り外してください。
- コード収納部に、コード以外のものを入れない。
※特に、濡れた物や食材などは絶対に入れないでください。
- アイドリング状態(駐車中に車両のエンジンをかけ続けている状態)で本製品を使用しない。
各自治体の条例で、車両のアイドリングは禁止されています。
詳しくは、使用する場所の自治体のウェブサイトをご確認ください。



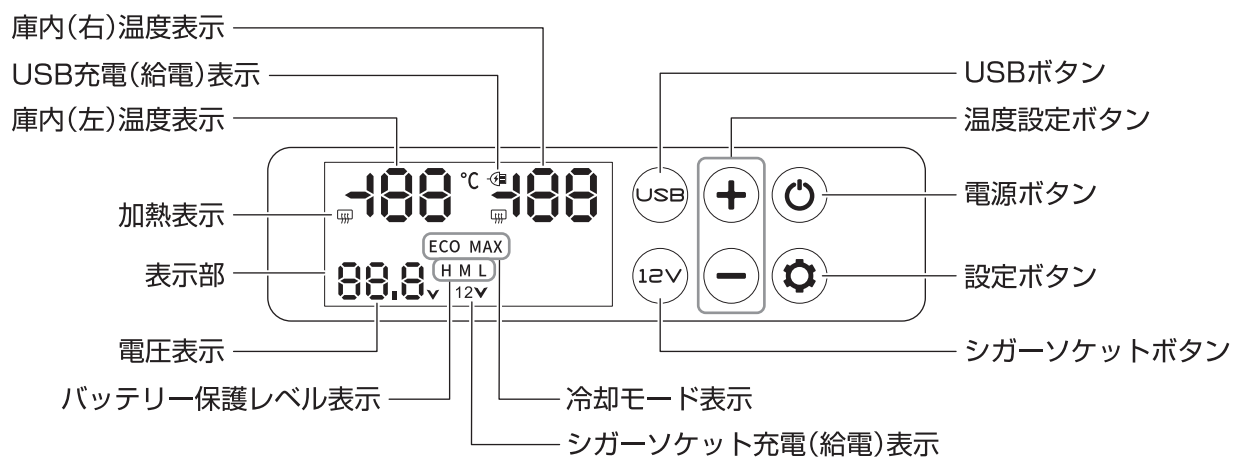
廃棄するときは

- 家電リサイクル法にしたがって、廃棄する。
※本製品は家電リサイクル法の対象商品です。
※廃棄する際は、家電リサイクル法により、①リサイクル料金、②収集・運搬料金をお支払いいただき、販売店や「指定引取場所」に引き渡すことが義務として求められています。
(「指定引取場所」に直接引き渡す場合、②は不要)
※「指定引取場所」やリサイクル料金については、「一般財団法人 家電製品協会 家電リサイクル券センター」のホームページでご確認いただけます。(https://www.rkc.aeha.or.jp/)

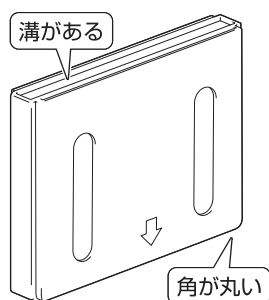
各部の名称



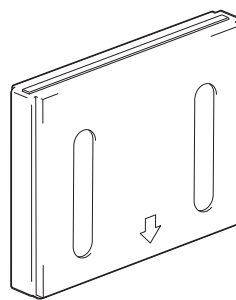
操作パネル



しきり



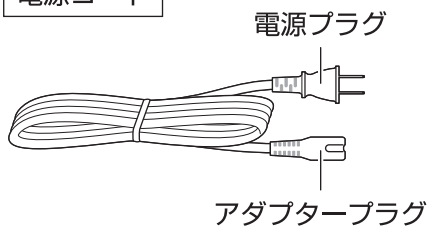
しきり(下)



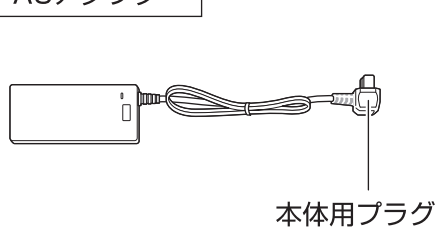
しきり(上)

付属品(コード)

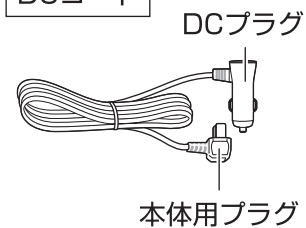
電源コード



ACアダプター



DCコード



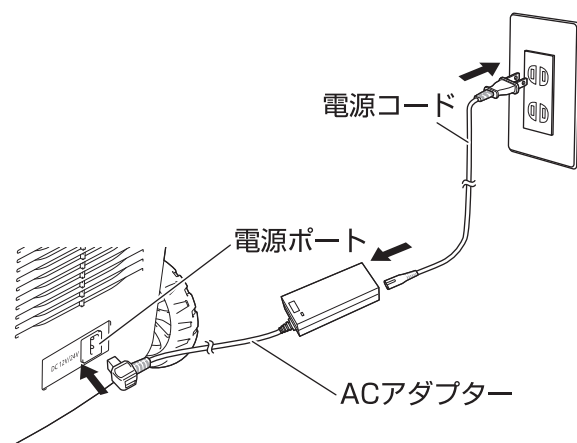
使いかた

1 電源に接続する

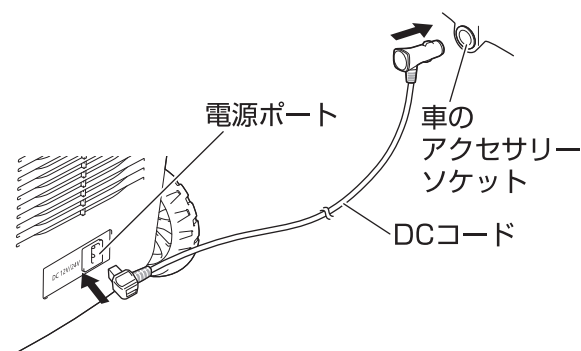
Point

- 車内での使用時は、車のエンジンをかけておく。
- エンジン停止時は、アクセサリースocketからDCプラグを抜く。

コンセントに接続する場合



車のアクセサリースocketに接続する場合



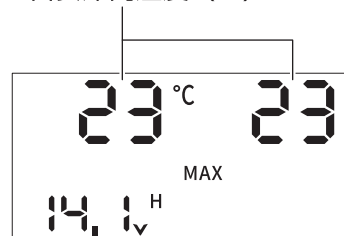
2 電源を入れる

- 表示部が点灯します。
- 表示部には、現在の庫内温度（庫内壁面の温度）が表示されます。

Point

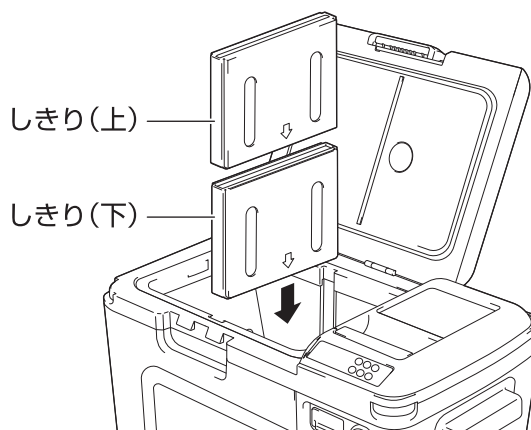
- 水平な場所に置いてご使用ください。横に寝かした場合は、立てた後6分以上たってから、電源を入れてください。

現在の
目安庫内温度（℃）



3 しきりを差し込む（左右で温度を変える場合）

- しきりを差し込むことで、左右で異なる温度に設定できます。
- 異なる温度で使用する際は、必ずしきりを差し込んでください。
- 左右を同じ温度に設定し、しきりを使用せず庫内を広く使うこともできます。



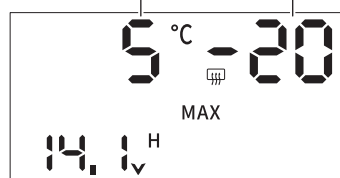
4 温度を設定する

- 設定範囲：－20～60℃
ただし、左右の温度差は最大で55℃です。
(温度設定時、左右の温度差が55℃より開かないように自動的に調整されます)

- 温度設定ボタンは、長押しすると早送りできます。
- 操作中は表示部に設定温度が表示され、操作後しばらくすると、庫内温度表示に戻ります。

※ 周囲温度によっては、庫内温度が設定温度に達しない場合があります。

左側の設定温度(℃) 右側の設定温度(℃)



左側の温度を設定する

- ① **+** **-** を押す
左側の温度表示が点滅します。
- ② **+** **-** を押して温度を設定する

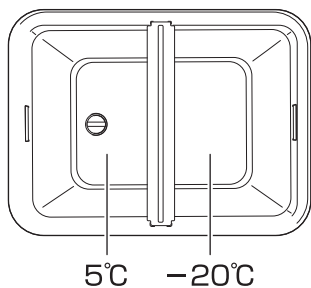
右側の温度を設定する

- ① **+** **-** を押し、**⚙️** を押す
右側の温度表示が点滅します。
- ② **+** **-** を押して温度を設定する

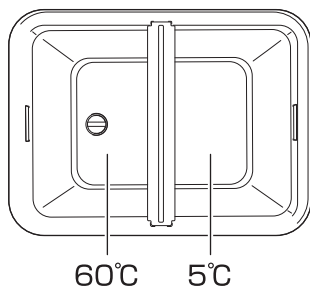
Point

温度設定例

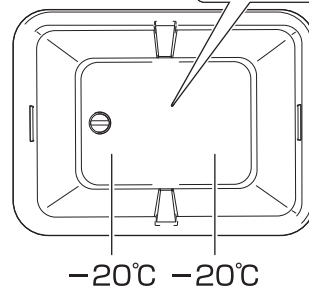
● 冷蔵庫／冷凍庫として



● 保温庫／冷蔵庫として



● 冷凍庫として しきりは外す



※ 片方を－20℃に設定する場合は、右側を-20℃に設定してください。
(製品の構造上、右側のほうが冷えやすいため)

設定温度の目安

用途	推奨温度	入れる物
冷蔵庫として	0～10℃	卵、バター、牛乳、飲料など
冷凍庫として	－20℃	冷凍食品など
保温庫として	60℃	調理物、温めた缶類、おしぼりなど

使いかた つづき

5 庫内が十分に冷えたら、あるいは温まったら、食品などを入れる

- 食品は、容器に入れた状態または包装された状態で庫内に入れてください。



- 冷凍庫として使用するときは、密閉容器に入った液体を入れない。(破裂のおそれ)

Point

■ 冷蔵庫として使用する場合

- 熱い物は、十分に冷ましてから入れてください。
- 十分にすき間を空けて入れてください。

■ 冷凍庫として使用する場合

- 肉類は、カットしてしっかりラップをしてから入れてください。
- 溶けやすい物は、他の食品などの下に入れてください。

■ 保温庫として使用する場合

- 調理物など、すでに温かい物を入れてください。
※本製品に、冷たい物や常温の物を加熱する機能はありません。
- 生鮮食品や冷凍食品を入れないでください。(腐敗のおそれ)

6 使い終わったら、 を長押しして電源を切る

- 運転が停止し、表示が消灯します。
- 食品などは、早めに取り出してください。(腐食やにおい移りなどを防ぐために)

7 コンセントまたはアクセサリースOCKETから、コードを抜く

外部機器を充電(給電)するとき

- USB出力ポートやシガーソケットから、外部機器へ充電(給電)できます。
- 庫内の左右を同じ温度で使用しているときのみ、充電(給電)機能が使用できます。(庫内を左右異なる温度で使用しているときは、充電(給電)されません)
- 充電用ケーブルは付属していません。外部機器に付属しているケーブルをご使用ください。
- パソコンなど、精密機器への充電(給電)はできません。

1 本体を電源に接続した状態で、 USB出力ポートまたはシガーソケットのカバーを開ける

2 外部機器のケーブルを、USB出力ポートまたはシガーソケットに差し込む

3 USB出力ポートを使用する場合は を押す

- 表示パネルの  が点灯し、充電(給電)が始まります。

シガーソケットを使用する場合は を押す

- 表示パネルの 12V が点灯し、充電(給電)が始まります。

4 充電(給電)が完了したら、ケーブルを抜いてカバーを閉める



注意

- 3Aの入力に対応していない機器は接続しない。
※本製品の出力は3Aです。
非対応機器を接続して生じた機器の破損や事故は、一切保証できません。
対応の有無は該当機器のメーカーにご確認ください。

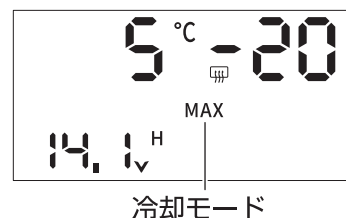
- USB機器を充電する際は、機器の仕様を確認する。
※USB機器の仕様によっては、該当機器内の蓄電池の寿命が縮む可能性があります。
※本製品はすべてのUSB機器への充電を保証するものではありません。USB機器やケーブルの仕様によっては、充電速度が非常に遅い場合や90～99%しか充電できない場合、また、まれに充電できない場合があります。

冷却モードを変更するとき

- 2種類の冷却モードから選択できます。

1 電源が入った状態で を押してモードを選択する

- 押すたびに、モードが切り替わります。
MAX：急速モード(フルパワーで急速に冷却) ※出荷時の設定
ECO：節電モード(消費電力を抑えながら、ゆっくり冷却)



車載バッテリー保護機能

本製品では、電源の電圧が低下するとエラーメッセージ「F1」が表示され、自動的に運転が停止します。(車のバッテリー上がりを防ぐため)

- 運転が停止するときの電圧値は、次の表のように、バッテリー保護レベルに応じて異なります。

バッテリー保護レベル	12V車	24V車
H(高)	11.1V以下 (12.4V以上で運転再開)	24.3V以下 (25.7V以上で運転再開)
M(中)	10.1V以下 (11.4V以上で運転再開)	22.3V以下 (23.7V以上で運転再開)
L(低)	8.5V以下 (10.9V以上で運転再開)	21.3V以下 (22.7V以上で運転再開)

Point

- 車内での使用時は、「H」に設定してください。(バッテリー上がりを防ぐため)

※電圧値は理論値であり、実際とは異なる場合があります。

バッテリー保護レベルを変更するとき

- ①電源が入った状態で  を長押しする
・現在のバッテリー保護レベル表示が点滅します。
- ②表示の点滅中に  を押してモードを選択する
・押すたびに、モードが切り替わります。
H(高) ※出荷時の設定 → L(低) → M(中) → H(高) …

お手入れ／収納

お手入れ



- お手入れするときは、必ず電源を切り、コードをすべて取り外す。
- 水洗いはしない。

Point

- 酸性・アルカリ性の強い洗剤や薬品、漂白剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りのスポンジなどは使用しないでください。
- 刃物や硬い物などを使用しないでください。

本体表面・庫内

- よくしぼった柔らかい布で、水拭きする
 - ・庫内が汚れたときは、すぐにお手入れしてください。汚れがこびり付いて取れにくくなります。
 - ・汚れが取れにくいときは、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けて拭き取り、水拭きしてください。

しきり

- ①本体から取り外し、中性洗剤で洗う
- ②柔らかい布で水分を拭き取り、日陰でよく乾かす

通気口

- 柔らかい布や掃除機などで、ほこりを取り除く

庫内の霜取り

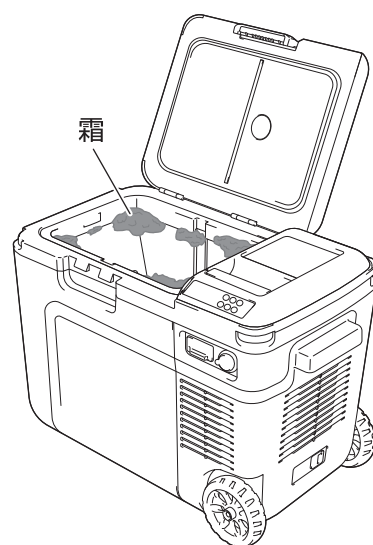
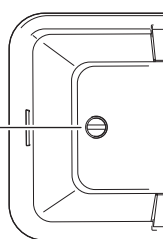
- 霜が付いたときは、使用後に必ず霜取りをしてください。
(電源を切ると霜が溶けて庫内の物が濡れたり、冷却性能が低下するのを防ぐため)
- ①ふたを開けたまま放置する
- ②霜が溶けきったら、柔らかい布で水分を拭き取り、日陰でよく乾かす
※本体を横向きや逆さにはしないでください。(破損の原因)

Point

- 水の量が多いときは、水抜き栓(底面)を外して排水することもできます。

庫内底面

水抜き栓



収 納

- 使用後は、必ずお手入れしてから収納してください。
- におい防止のために少しふたを開け、ほこりなどをかぶらない場所に収納してください。
- 直射日光が当たる場所や高温になる場所、湿気の多い場所には収納しないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次の事項をまずご確認ください。

症状

冷えない、
温まらない、
運転が始まらない、
途中で停止する



原因 → 対応

- 電源コード、ACアダプター、DCコードが正しく接続されていない。
→正しく接続してください。(P.6)
- 電源が入っていない。
→電源ボタンを押して、電源を入れてください。(P.6)
- 車内使用時、車のバッテリーの電圧が低下した。
※バッテリーの電圧がバッテリー保護レベル(P.9)に応じた設定値より低くなると、エラーメッセージ「F1」が表示され、自動的に運転が停止します。
(車のバッテリー上がりを防ぐため)
→エンジンをかけてバッテリーを十分に充電してください。
※バッテリー保護レベルを「M」または「L」にすれば運転は続けられますが、バッテリー上がりリスクが高くなります。
- 頻繁に電源を入/切すると、内蔵のコンプレッサーが作動するまでに時間がかかることがあります。

庫内温度が
あまり上がらない、
入れたものが
冷えてしまう



- 周囲温度が低い。
→温度が低すぎない場所で使用してください。
- 設定温度が低くなっている。
→温度設定ボタンで、設定温度を上げてください。
保温庫として使用する場合は60℃に設定してください。(P.7)
- 冷たい物を入れている。
→調理物など、すでに温かい物を入れてください。
※本製品に、冷たい物や常温の物を加熱する機能はありません。
- 通気口周辺に物を置いている。
→周囲の物との間に、十分なすき間を空けてください。
- ふたが確実に閉まっていない。
→確実に閉めてください。
- ふたを長時間開けたり、頻繁に開閉したりした。
→ふたが開いている時間をできるだけ短くし、開閉回数を少なくしてください。

故障かな？と思ったら つづき

症状

原因 → 対応

庫内温度が
あまり下がらない

- 周囲温度が高い。
→ 温度が高すぎない場所で使用してください。
※ 周囲温度が35℃の場合、-20℃に設定しても約8℃までしか下がりません。
- 設定温度が高くなっている。
→ 温度設定ボタンで、設定温度を下げてください。
冷蔵庫として使用する場合は0～10℃、冷凍庫として使用する場合は-20℃に設定してください。(P.7)
- 熱い物を入れている。
→ 常温で十分に冷ましてから入れ直してください。
- 詰め込みすぎている。
→ 冷気が通るように、十分にすき間を空けて入れてください。
- 通気口周辺に物を置いている。
→ 周囲の物との間に、十分なすき間を空けてください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所を使用している。
→ 直射日光や暖房器具の熱が当たらない場所で使用してください。
- 庫内壁面に霜が付いている。
→ 霜取りを行ってください。(P.10)
- ふたが確実に閉まっていない。
→ 確実に閉めてください。
- ふたを長時間開けたり、頻繁に開閉したりした。
→ ふたが開いている時間をできるだけ短くし、開閉回数を少なくしてください。

凍らせたくない
食品が凍る

- 設定温度が低くなっている。
→ 温度設定ボタンで、設定温度を上げてください。
冷蔵庫として使用する場合は0～10℃に設定してください。(P.7)

庫内がにおう

- においの強い物を入れている。
→ においの強い物は、ラップで包むか密閉容器に入れてください。
- 食品の残留物が庫内に付着している。
→ よくしぼった柔らかい布で、拭き取ってください。

症状	原因 → 対応
霜が多く付く	● 冷蔵庫や冷凍庫として使用しているところに熱い物を入れている。 → 常温で十分に冷ましてから入れ直してください。 ● ふたが確実に閉まっていない。 → 確実に閉めてください。 ● ふたを長時間開けたり、頻繁に開閉したりした。 → ふたが開いている時間をできるだけ短くし、開閉回数を少なくしてください。 ※使用後に、必ず霜取りをしてください。(P.10)
振動する	● 不安定な場所に置いて、使用している。 → 水平で安定した場所に置いてください。 ● 本体が壁や物に触れている。 → 周囲の物から離してください。
音が大きい	● 本製品は、内蔵のコンプレッサーを運転したり停止したりして温度を調節しています。コンプレッサーが動き出すときは、音が少し大きくなります。
水の流れるような音がする	● 冷媒が冷却器の中を流れる音です。 (異常ではありません)
本体の表面が結露する	● 夏場など、湿度の高い環境で冷蔵庫や冷凍庫として使用している。 (自然現象であり、異常ではありません) → 結露した水は、柔らかい布でこまめに拭き取ってください。

エラーメッセージ

表示部に次のようなエラーが表示された場合は、次の事項をご確認ください。

表示	原因 → 対応
F 1	● 車内使用時、車のバッテリーの電圧が低下した。 ※バッテリーの電圧がバッテリー保護レベル(P.9)に応じた設定値より低くなると、エラーメッセージ「F1」が表示され、自動的に運転が停止します。(車のバッテリー上がりを防ぐため) → エンジンをかけてバッテリーを十分に充電してください。 ※バッテリー保護レベルを「M」または「L」にすれば運転は続けられますが、バッテリー上がりリスクが高くなります。 ● コンセントからの電圧が低すぎる。 → いったん電源を切り、別のコンセントに接続して試してみてください。
F 2	● コンデンサーファンが過負荷状態になっている。 → いったん電源を切り、5分以上たってから電源を入れ直してください。
F 3	● コンプレッサーが頻繁に起動している。 → いったん電源を切り、5分以上たってから電源を入れ直してください。
F 4	● コンプレッサーが作動していない。 → いったん電源を切り、5分以上たってから電源を入れ直してください。
F 5	● コンプレッサーまたは電子部品が過熱している。 → いったん電源を切り、5分以上たってから電源を入れ直してください。
F 6	● 本製品が正常に動作していない。 → いったん電源を切り、5分以上たってから電源を入れ直してください。
F 7・F 8	● 温度センサーが正常に動作していない。 → いったん電源からコードを抜き、5分以上たってから差し込み直して、電源を入れてください。

表示

E 1~E 9

原因 → 対応

- 製品検査時のモードです。
→ ボタンを押さず、そのまま放置すると表示が消えます。

仕 様

総重量	(約) 14.5kg
容量	しきり無し：(約) 27L 左室・右室：(約) 12L
サイズ	(約) 幅61.5×奥行33.5×高さ44cm
内寸	しきり無し：(約) 幅32×奥行23×高さ35cm 左室・右室：(約) 幅14.5×奥行23×高さ35cm
電源	AC100V／DC12Vおよび24V
定格消費電力	80W
出力	USB 5V/3A
構成	本体、電源コード、ACアダプター、DCコード
主素材	ポリプロピレン

●製品の仕様は予告なく変更する場合があります。